

2022年末リリース予定!

大学での講義利用に最適なVDIシステム



# CO-Gateway

with **AVD**

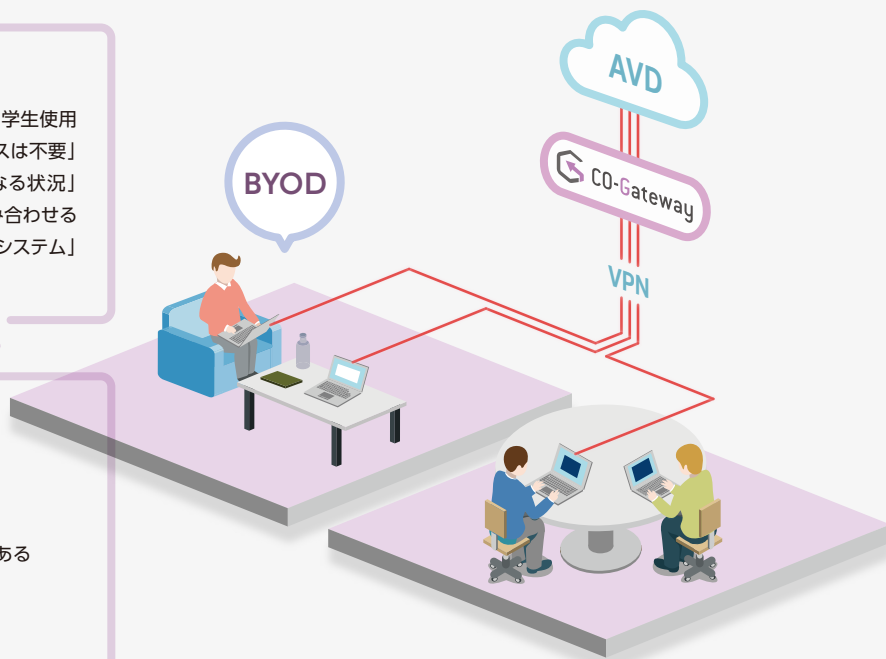
Azure Virtual Desktop (AVD) を「学生向けVDIシステム」として利用するための様々な機能を提供します。

## AVDと学生向けVDIシステム

AVDは、「必要な時に必要な数のWindowsを利用できる」「学生使用特典を割り当てられた学生はVDAライセンス等の追加ライセンスは不要」という特徴から、講義のように「短時間に多くの端末が必要となる状況」での利用が期待されています。CO-Gateway with AVDと組み合わせることで、AVDの機能面と価格面の課題を解決して「学生向けVDIシステム」として利用できるようになります。

## 学生向けVDIの特徴

- 🔗 **共通環境** : 多数の同じ環境を提供する必要がある
- 🔗 **環境復元** : ユーザーが変わる毎に環境復元させたい
- 🔗 **交代で利用** : 利用者が頻繁に短時間に入れ替わる必要がある
- 🔗 **負荷が変動** : 時間帯により同時利用数が大きく変動する
- 🔗 **多様な環境** : WindowsやLinux、複数の環境を使える



POINT 01

## BYOD端末から手軽にアクセスできる

ブラウザ接続や専用アプリから簡単にVDI環境へ接続。PC教室でPCの電源を入れる際と同じスピード感で、BYOD端末ですぐにAVD環境を利用できます。



POINT 02

## 短い休み時間で学生を入れ替えるために

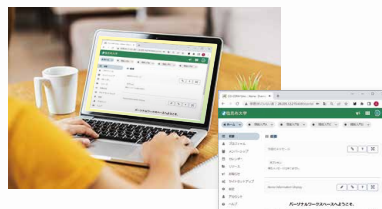
講義終了後にユーザーの画面にメッセージを表示して退出を促すことや、既定の利用時間が終了した際に強制的に退出させることができます。次に利用するユーザーは、初期化された状態の環境で利用を開始できます。



POINT 03

## LMSと連携 (LTI 1.3対応)

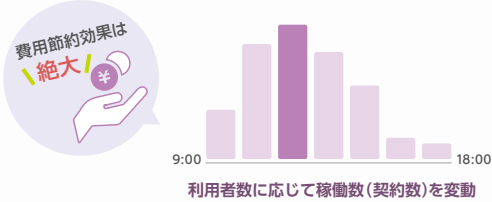
LMSに対して、LTIでAVD環境への接続情報を提供。LMS上で教材と同列にAVD環境へのリンクを表示することで、「各講義で利用するAVD (VDI) 環境」への誘導を簡単かつ確実にします。時間割情報や履修情報・予約情報に基づき、利用可能なAVD (VDI) 環境を限定列挙して提示することもできます。



POINT  
04

## AVDの従量課金契約を活用する 電源管理機能

講義のある時間帯には受講者数分のセッションホストを作成し、長期休暇や夜間・休日などユーザーが少ない日時では数を減らします。必要なときに必要な分のみ作成するので、AVDの従量課金契約を効果的に活用できます。

POINT  
05

## Linux環境も利用できる

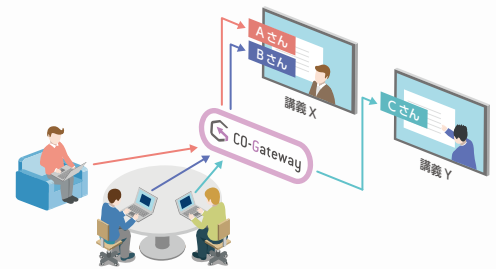
AVDの管理ツールでありながら、CO-Gatewayの機能により、Linux環境やオンプレVDI環境との併用ができます。ユーザーに対しては、VDI基盤の違いを意識させることなく利用可能な環境を同列に提示できます。

※「CO-Gateway with AVD」で利用できるのはWindows環境のみです。  
※Linux環境をAzure上に構築することもできます。

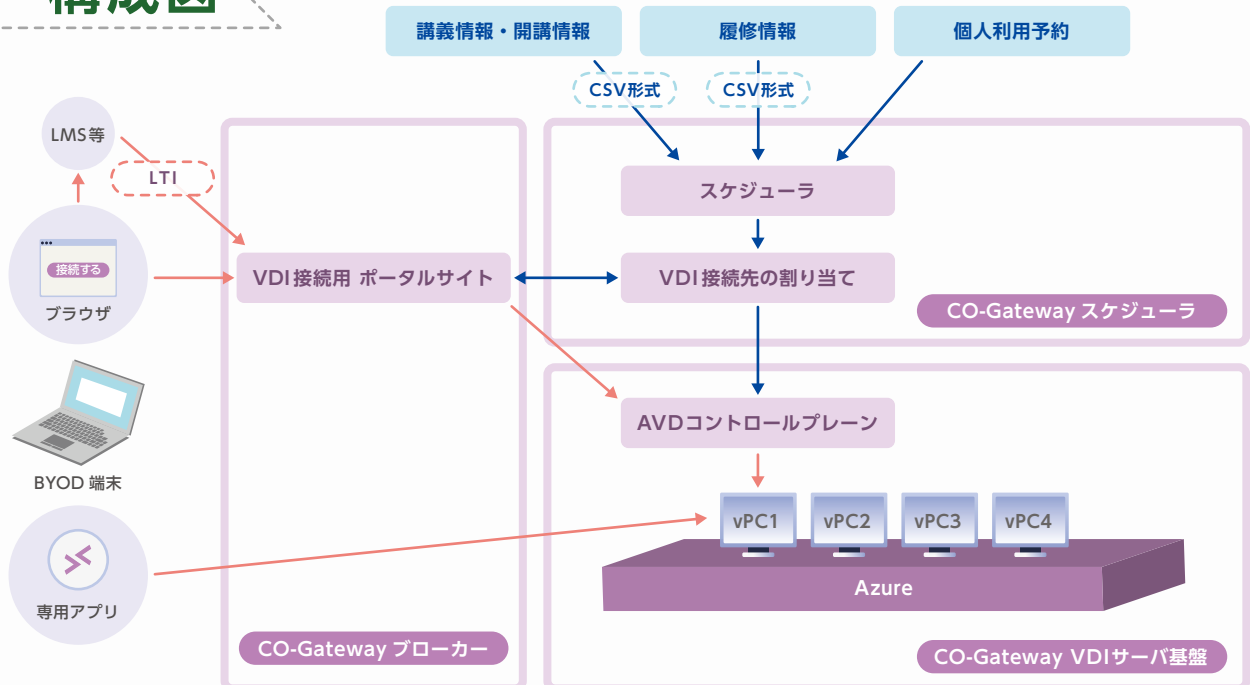
Windows環境は  
AVDLinux環境は  
AzureかオンプレPOINT  
06

## ユーザーごとに最適な接続先を提示

接続するユーザー情報（学生か教職員）や予約情報（履修情報）などによって、最適なVDI環境を提示します。特にマルチセッションにおいては、同じ講義を受講する学生を同じセッションホストに誘導することで「講義終了後にセッションホストを再起動して環境復元」が可能となります。



## 構成図



### 認証について

CO-Gatewayを利用する際は、MicrosoftアカウントないしはLDAP(Active Directory)で認証します。もしAVDの接続先となるvPC(セッションホスト)をMicrosoftアカウントで認証するように構成する場合には、CO-Gateway、AVDポータル、vPCのすべてをMicrosoftアカウントでシングルサインオン(SSO)させることもできます。



お問い合わせ

株式会社 シー・オー・コンヴ

〒606-8301 京都市左京区吉田和泉殿町1番地7 百万遍ビル3F  
Tel : 075-606-5394 / Email : info@co-conv.jp製品についての更に詳しいご案内は  
弊社Webサイトで!<https://www.co-conv.jp/>